



平安時代文学作品の研究

[キーワード: 日記文学・物語文学・和歌]

教授 堤 和博

<研究の概要> 物語的私家集や『蜻蛉日記』など、平安時代のうち主として10世紀頃の文学作品の研究を行っている。最近では、『蜻蛉日記』上巻前半部に関する論考が多いが、同後半部にも研究範囲をひろめつつある。

<主要研究業績>

- ・堤和博(2007)『歌語り・歌物語隆盛の頃—伊尹・本院侍従・道綱母達の人生と文学—』和泉書院
- ・堤和博(2009)『和歌を力に生きる—道綱母と蜻蛉日記—』新典社
- ・堤和博(2010)『紫式部・定家を動かした物語—謙徳公の書いた豊蔭物語—』新典社
- ・堤和博(2020)『蜻蛉日記上巻前半部研究』新典社
- ・堤和博(2020)『『蜻蛉日記』上巻後半部の始発から歌との別れへ—道綱母にとっての和歌—』古代中世文学論考刊行会編『古代中世文学論考第41集』新典社、p.55~84

専門分野: 日本文学

E-mail: tsutsumi.kazuhiro@tokushima-u.ac.jp

Tel :

Fax :

詳細情報 :

<http://pub2.db.tokushimau.ac.jp/ERD/person/60571/profile-ja.html>